

2022年7月1日
大阪地下街株式会社

ホワイトイラめだ 200 シーリングビジョン 「デジタルサイネージアワード 2022」 優秀賞を受賞！

大阪地下街株式会社と株式会社クラウドポイント（本社：東京都渋谷区、代表取締役：三浦 巖嗣）は、一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアムが主催する「デジタルサイネージアワード 2022」にて優秀賞を受賞いたしました。



<ホワイトイラめだ 200 シーリングビジョンについて>

ホワイトイラめだ街内の天井部 60カ所に 32 インチ・デジタルサイネージを 204 面設置した媒体。平常時は、日本でも有数の媒体接触可能人数であり、設置台数としては日本で最大級の規模であることから、有料広告・プロモーションでの放映に加えて、ニュース速報・天気予報や施設告知等の幅広い生活情報媒体として運営します。

地震・水害など非常時の情報展開においては、視覚化して的確に情報伝達するための装置として、Lアラート情報を自動的に配信。また、非常放送設備、自動火災報知設備、緊急地震速報との連携により、火災・地震などの情報を自動切替表示するほか、現場の操作 PC からのマニュアル操作により、火災発生・避難情報を多言語化して発信する事も可能。さらに、停電時は 2 次電源で効率的に情報を発信し、地下街全域に的確な情報を伝達する仕様となっております。

<審査員の講評>

- ・大阪の商業施設では、最大級の面数をほこり、ジャックできるサネージとしてインパクトがある。サブスクモデルでの提供も新しい価値をもたらしていることを感じた。
- ・通路全箇所にわたり、204 面のサイネージでタッチポイントを作った好事例。自然に連続して利用者の目に入るようにするために、サイズや間隔等に工夫が見られ評価できる。

ホワイトイラめだ 200 シーリングビジョンの設置計画から稼働まで、多くの事業者様にご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。